

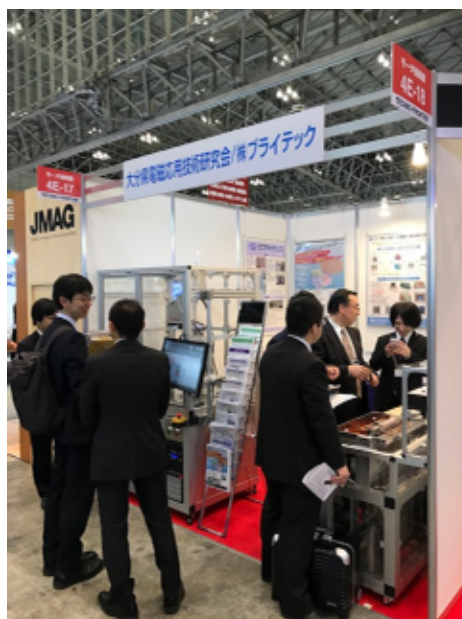
展 示 会 出 展 報 告 書

事務局長 池田 哲

- 【名 称】 TECHNO-FRONTIER 2019 (第 37 回モータ技術展)
【会 期】 平成 31 年 4 月 17 日 (水) ~ 平成 31 年 4 月 19 日 (金)
【会 場】 幕張メッセ (千葉県美浜区中瀬 2-1)
【内 容】

日本能率協会主催「TECHNO-FRONTIER 2019 (第 37 回モータ技術展)」において、電磁応用技術研究会の展示ブース (出展番号 4E-17) を設置し、当会の取り組みや会員企業である(株)ブライテックの磁気測定機器を紹介した。本年の展示会の会場来場者は、3 日間で 30,447 人 (主催者発表) であった。

- 出展者名：大分県電磁応用技術研究会 / (株)ブライテック
- 当研究会は、大分県産業科学技術センターパンフレットと電磁力応用技術センター資料、先端技術イノベーションラボ (Ds-Labo) 資料を配布した。
- 共同出展のブライテック社は、磁束密度制御装置 (新製品)、2 次元磁気特性可視化装置、応力負荷型単板磁気試験器、2 次元単板磁気試験器の 4 装置をデモ展示した。また、サーモグラフィーカメラによるモータコア等の鉄損分布可視化装置をパネル展示した。
- 3日間で110名以上のブース来場者があった。
- 国内外のモータ技術関連企業と、磁気特性測定技術を中心とした多くの有益な情報交換を行うことができた。また、電磁応用技術研究会や大分県産業科学技術センターの活動や技術シーズを、広くPRすることができた。
- ブライテック社には、今後の商談につながる案件が十数件あった。



会期中の電磁応用技術研究会ブースの様子

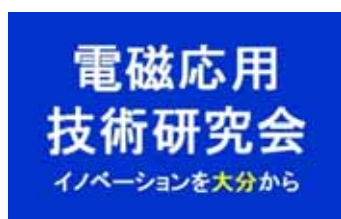
出展概要：

TECHNO-FRONTIER 2019（第37回モータ技術展）

2019年4月17日(水)～19日(金)10:00～17:00（幕張メッセ）



電磁応用技術研究会ロゴ：



出展者名：

大分県電磁応用技術研究会 / (株)プライテック

ブース番号：

4E-17（モータ技術展）

出展の見どころ：

電磁応用技術研究会（大分県）は、磁性材料の磁気特性測定から実機評価まで、電気機器の研究開発を技術支援します。

当研究会は大分県産業科学技術センター内にあり、電磁鋼板の単板磁気試験器、モータ実機の鉄損評価装置、永久磁石の磁気特性評価装置などを開発するとともに、B-Hアナライザ、X線残留応力測定装置、磁界解析ソフトウェアなどを設置しています。

出展ブースでは、（株）プライテックが開発した磁束密度制御装置（電磁鋼板の磁気特性の測定に必須な磁束密度正弦波制御装置）と、大分県産業科学技術センターとの共同開発の応力負荷型単板磁気試験器（最大±100MPa）により、高速、高精度な電磁鋼板の磁気特性測定の実例を体感していただきます。

そのほか、「2次元磁気特性可視化装置（第6回ものづくり日本大賞九州経済産業局長賞受賞）」の実機によるモータ駆動時の固定子内鉄損分布測定による新しいモータ評価方法の提案、サーモグラフィーカメラによるモータコア等の損失鉄損分布可視化装置など、磁気測定に有効な各種装置を紹介します。

出展製品：

磁気特性測定装置（磁束密度制御装置、応力負荷型単板試験器、2次元磁気特性可視化装置、鉄損分布可視化装置、2次元単板試験器）



2次元磁気特性可視化装置（VMPVS-1000）



応力負荷型単板磁気試験器

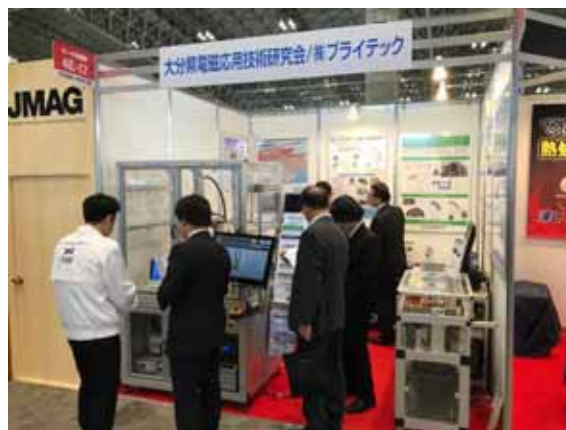


磁束密度波形制御装置（B-con Series）

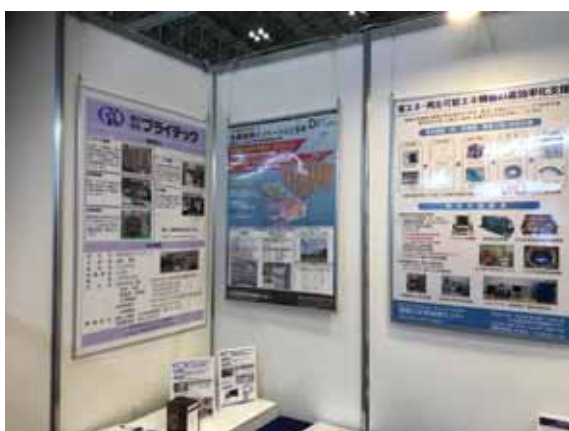
展示会の様子：



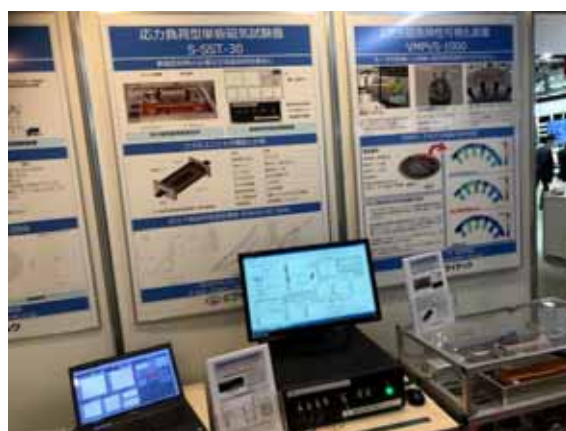
会場（幕張メッセ：開場前）



研究会ブース（4E-17）



展示物（1）



展示物（2）



共同出展者（ブライテック）の皆様



オープニングセレモニー（4/17）

問い合わせ先：

電磁応用技術研究会（担当 池田、沓掛）、電話 097-596-7101、www.oita-mag.jp
（株）ブライテック（担当 相原）、電話 097-558-1125、www.btec-net.co.jp

以上